



枚方市

「今後の中学校部活動の在り方」 検討状況について(令和5年9月)

枚方市教育委員会事務局
教 育 指 導 課

めざす姿

少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保する。

地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保する。

枚方市中学校部活動の在り方懇話会について

構成メンバー

大阪体育大学 准教授

関西外国語大学 教授

枚方市スポーツ少年団代表

枚方市立小学校PTA代表者

枚方市中学校体育連盟代表

大阪樟蔭女子大学 教授

枚方市スポーツ推進委員代表

枚方市中学校文化系部活動代表

枚方市立小中学校長

計11名

開催日程等

6月 7日 第1回枚方市中学校部活動の在り方懇話会

7月10日 小中学校教職員・保護者アンケート実施(~7月28日)

8月 3日 第2回枚方市中学校部活動の在り方懇話会

案件について

第1回懇話会

- 部活動の地域移行についての国の動向と枚方市の部活動の現状について
- 枚方市中学校部活動の在り方について

第2回懇話会

- アンケートについて
- 持続可能な部活動の在り方「ひらかたモデル」作成に向けて

今後の予定について

◆ 令和5年度（2023年度）9月以降

○ 懇話会、検討委員会・幹事会の実施

※必要に応じて、臨時の懇話会を開催

○ 児童生徒対象・地域の方対象のアンケートの実施

○ 一部の地域・一部の部活動の試行実施・検証

（令和6年1月～3月予定）

今後の予定

◆ 令和6年度（2024年度）

- 試行実施の拡充・検証
- 持続可能な部活動の在り方「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂

4つの**類型**をたたき台に試行実施を行い、
単独型か複合型で実施するのか等も含め
検証を行いながら「**ひらかたモデル**」を
作成する。



①学校部活動

【授業の延長的活動型】

学校の授業（6時間授業）



バスケットボールクラブ

サッカークラブ

吹奏楽クラブ

科学クラブ

卓球クラブ

剣道クラブ

野球クラブ

バレーボールクラブ

美術クラブ

華道クラブ

陸上クラブ

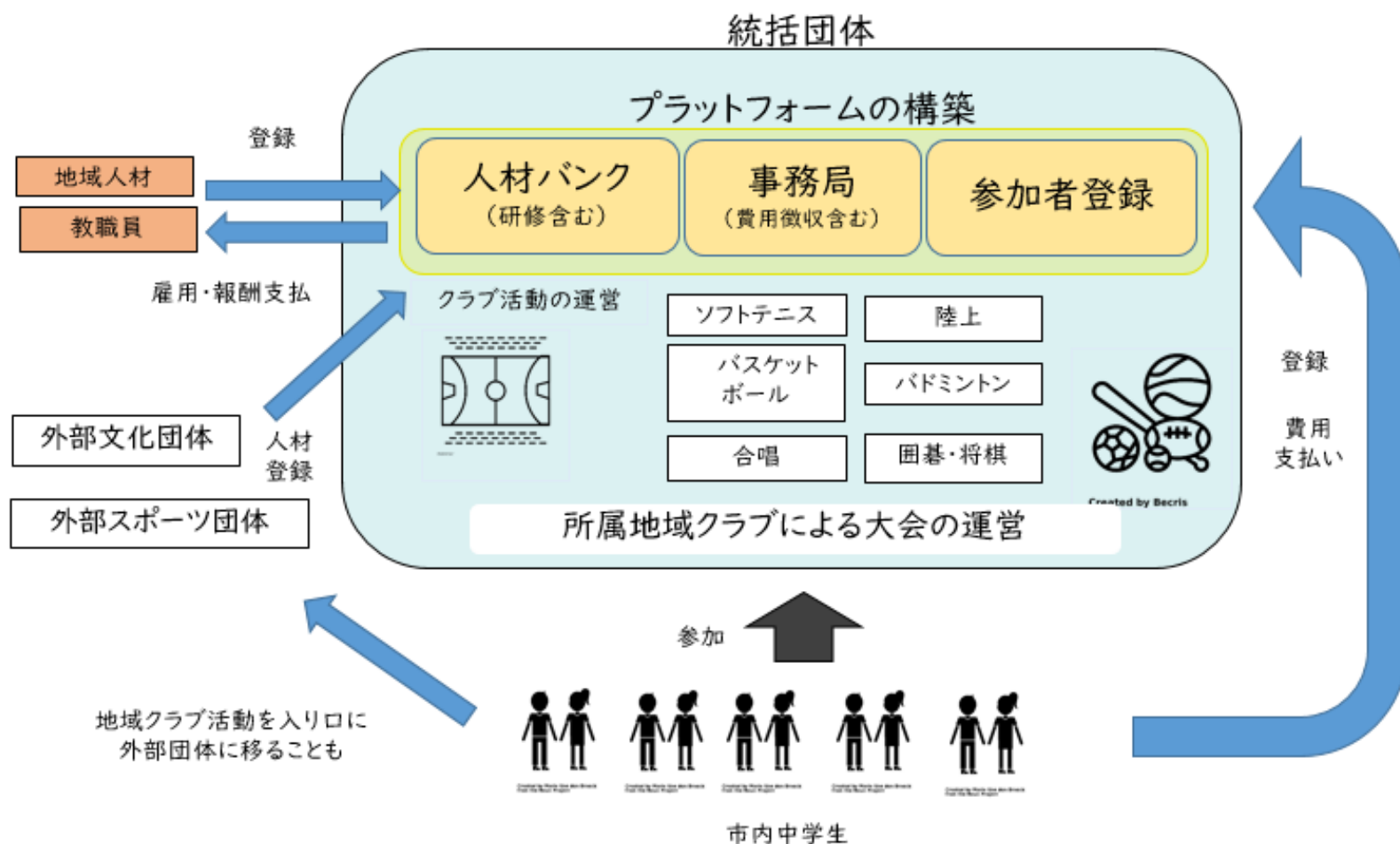
バドミントンクラブ



- ・1日30分～60分程度で
- ・週1回1時間で（授業の延長として）
- ・教職員の勤務時間内で

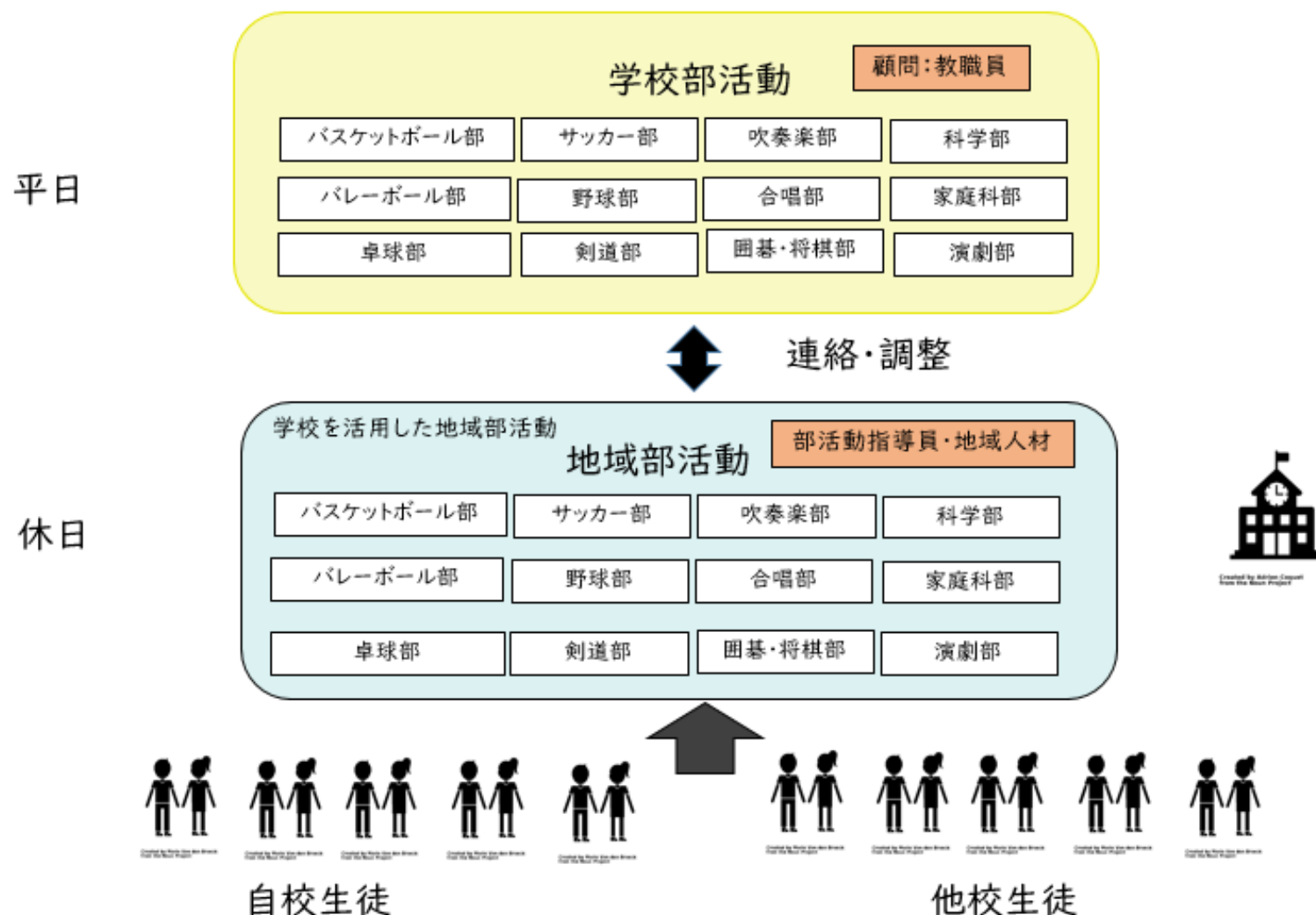
① 統括団体によるクラブ運営型

【柏市型・統括団体運営方式】



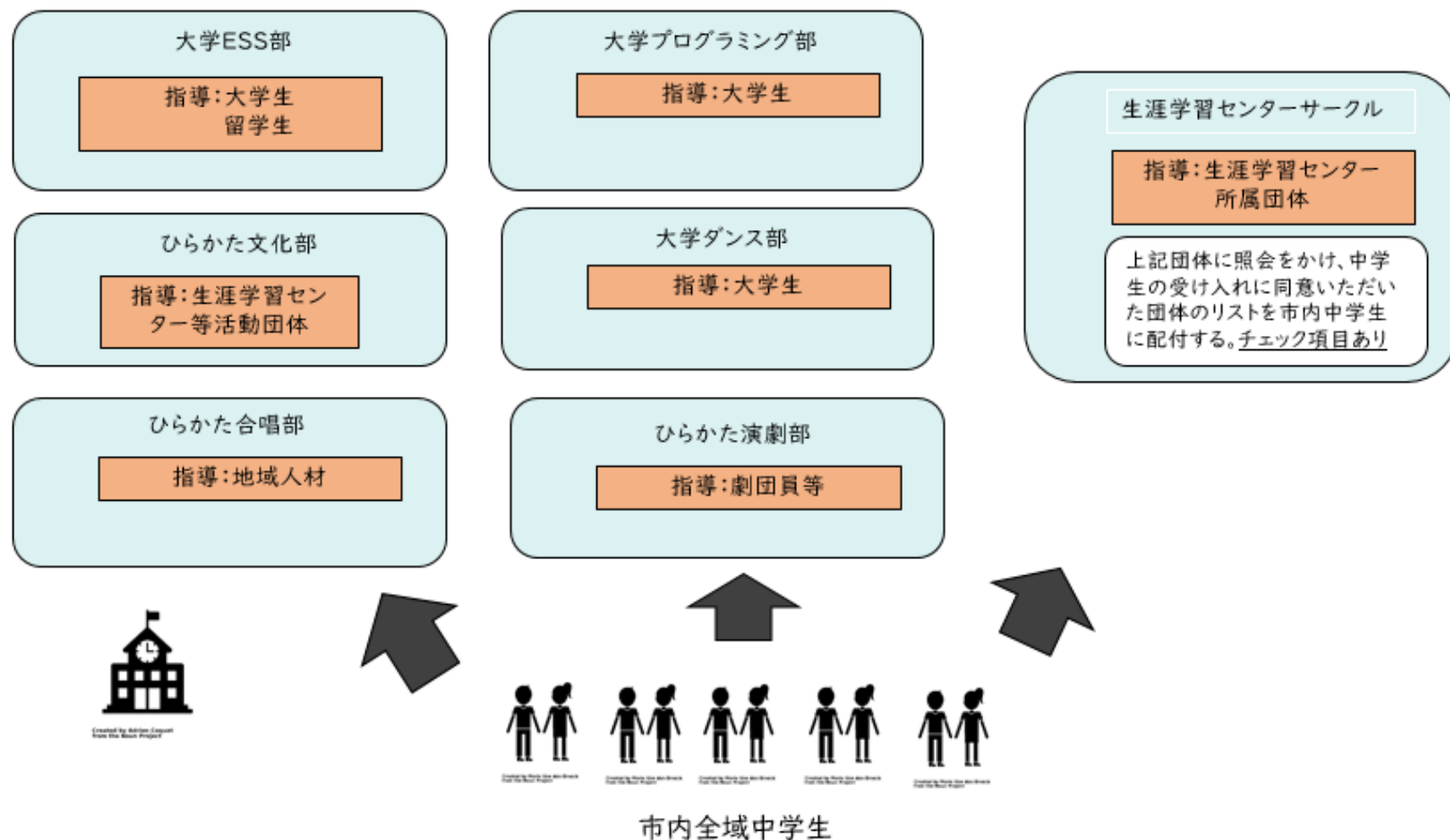
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせせ型

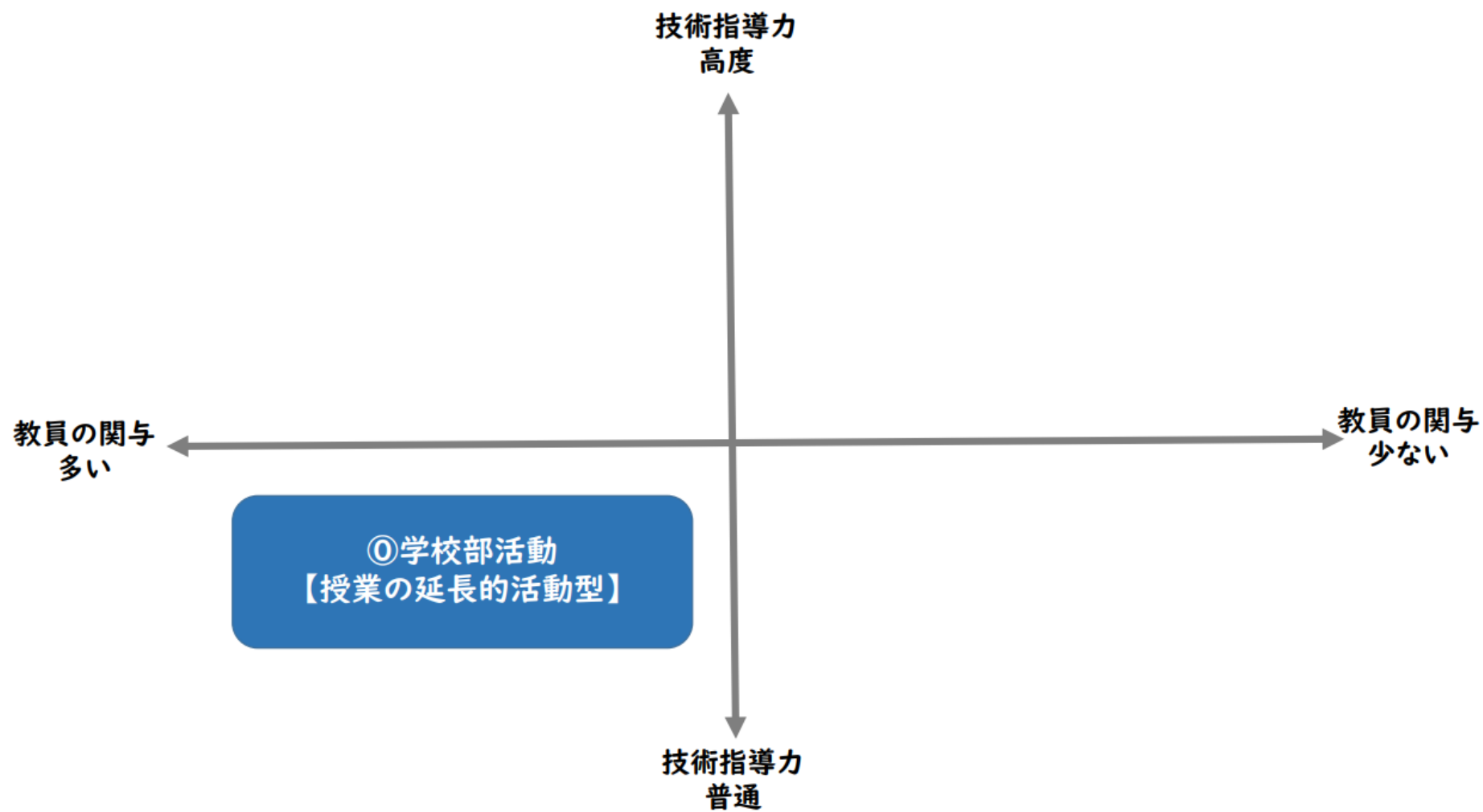
【部活動指導員による拠点校運営方式】

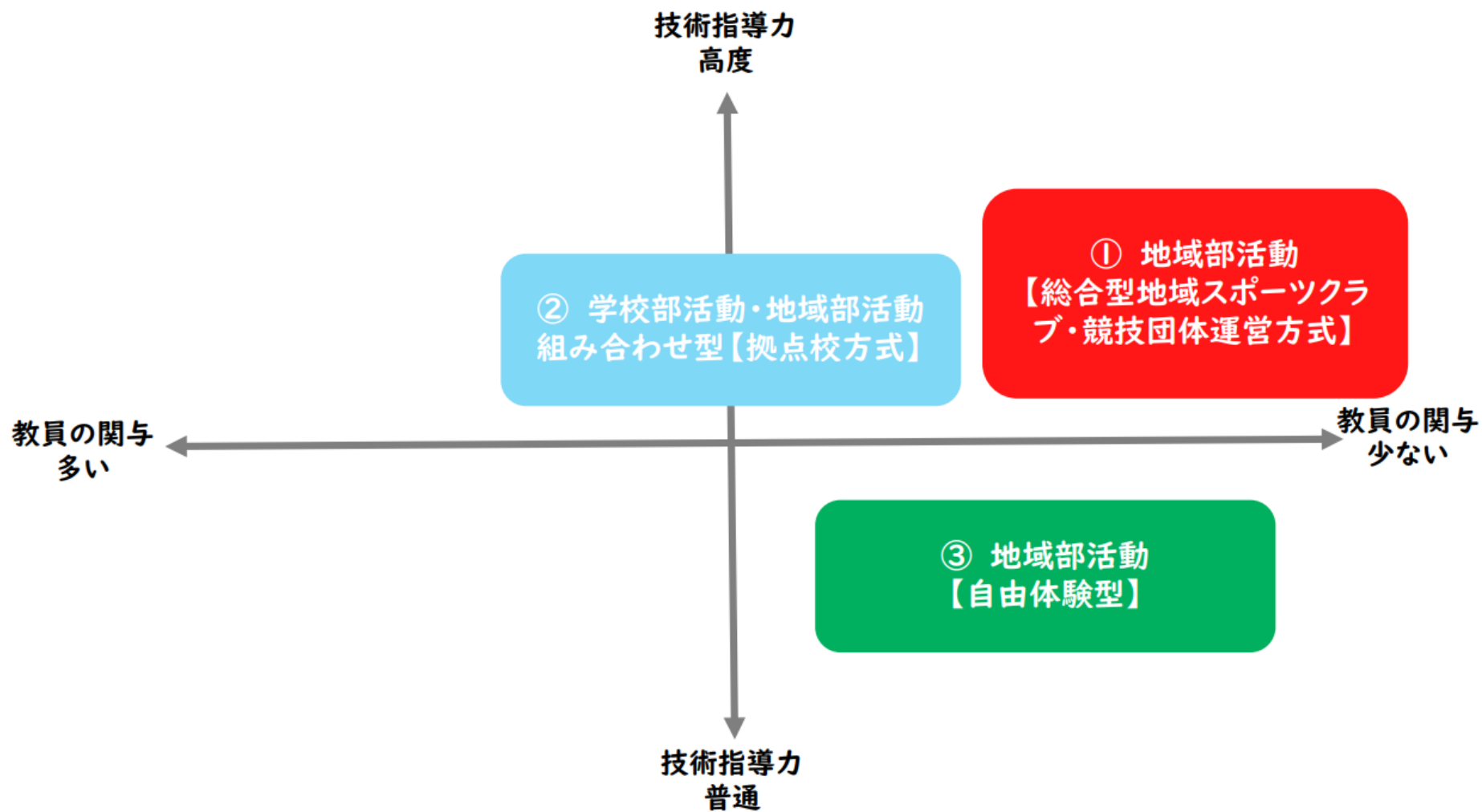


③ 自由体験型 地域部活動

【大学生や保護者などによる運営方式】







試行実施について

令和6年1月～3月

③ 自由体験型 地域部活動

令和6年度

① 統括団体
によるクラブ
運営型

② 学校部活動・
地域部活動 組
み合わせ型

③ 自由体験型
地域部活動

令和7年度

「ひらかたモデル」における先行実施

枚方の部活動の在り方 ひらかたモデル イメージ(たたき台)

区分	生徒の希望	活動場所	指導者	費用負担
① 統括団体によるクラブ運営型 【柏市型・統括団体運営方式】 統括団体を設立し、地域にすでにある団体の協力を得ながら運営していく形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	公共施設 拠点校 等		今後、個別に検討予定
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型 【部活動指導員による拠点校運営方式】 地域の競技団体等や保護者などを部活動指導員（外部指導者）として運営する形	大会などでの活躍をめざす	学校		
③ 自由体験型 地域部活動 【大学生や保護者などによる運営方式】 大学との連携や保護者会などにより新たな受け皿を設置し運営する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	公共施設 大学 拠点校 等		
④ 授業の延長的活動型 学校部活動 【教員による運営方式】 体育や美術・音楽など、授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	学校		